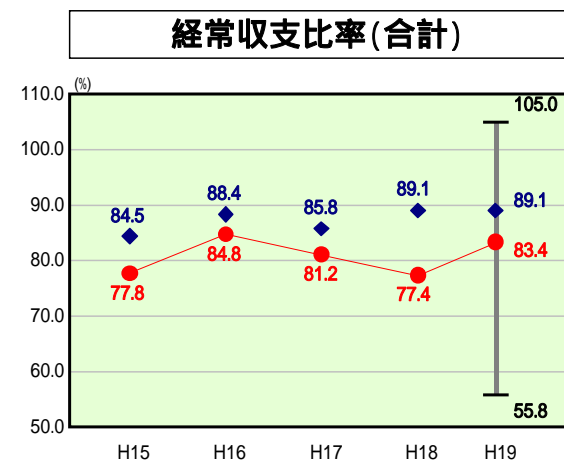


# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

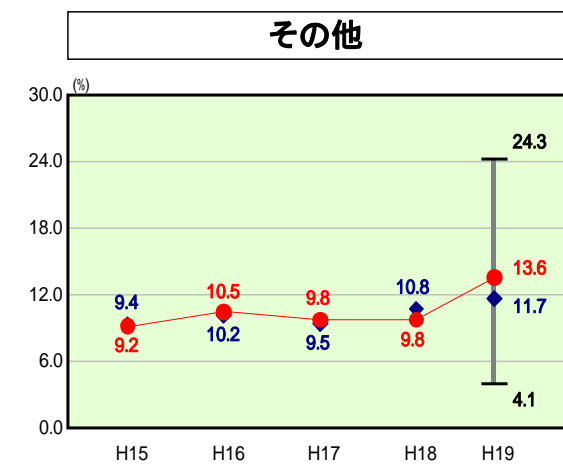
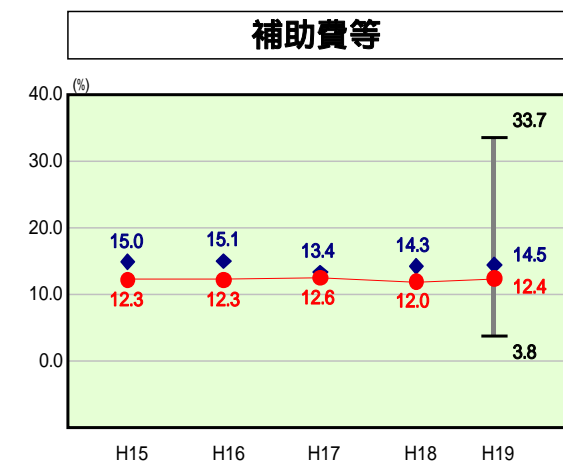
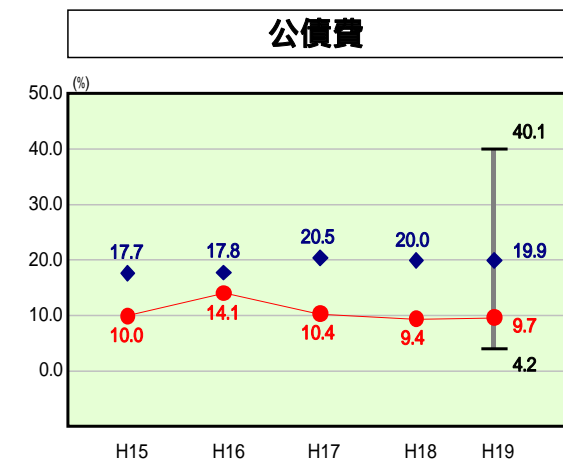
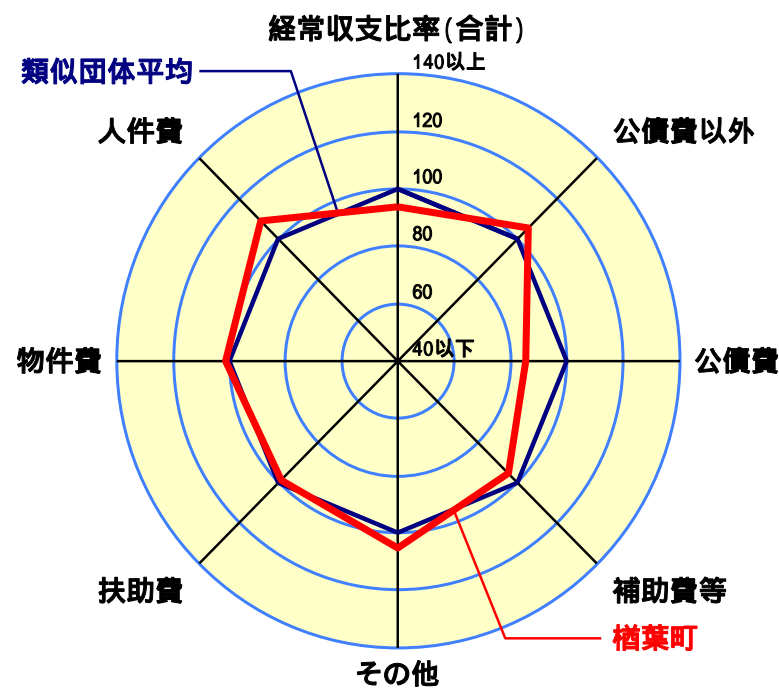
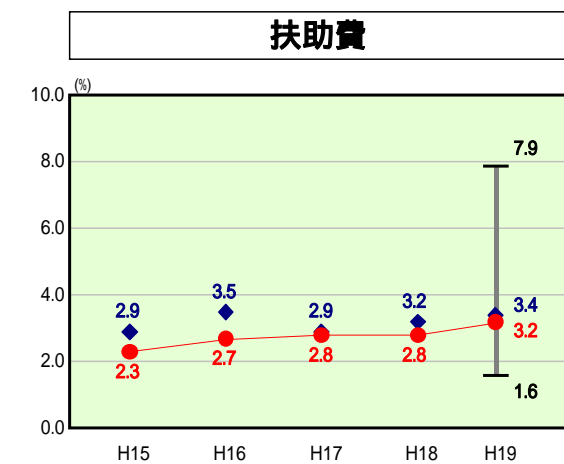
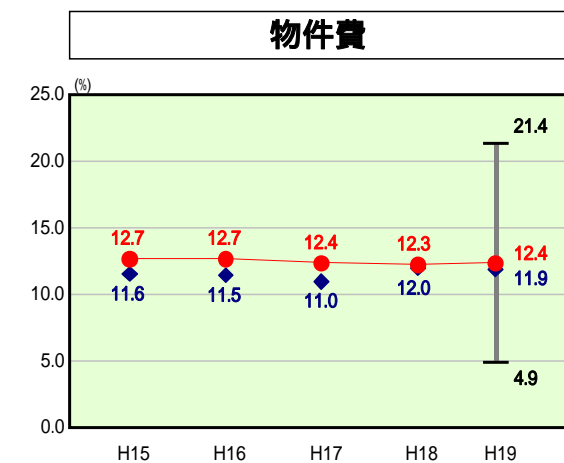
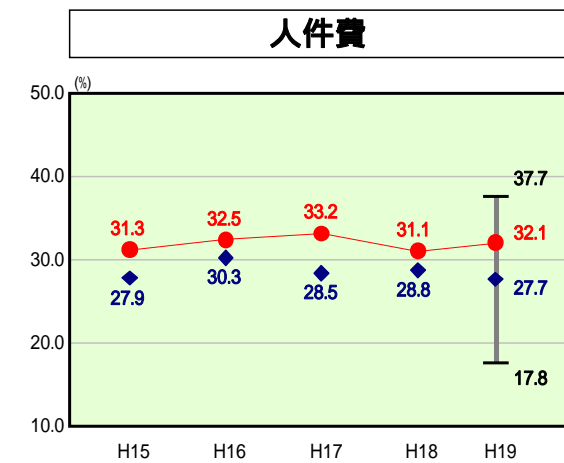
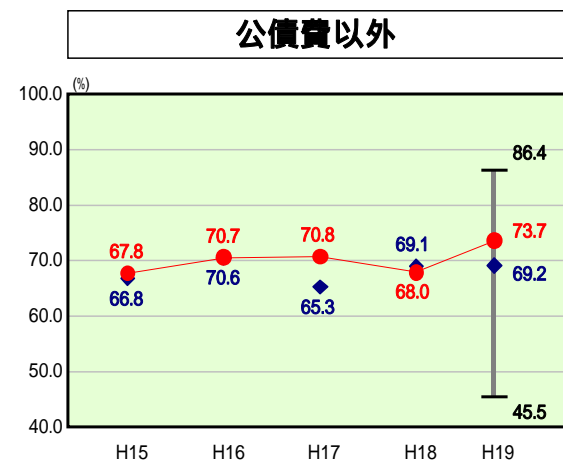
福島県 檜葉町

## 経常収支比率の分析



当該団体値 ●  
 類似団体内平均値 ◆  
 類似団体内最大値 ▸  
 類似団体内最小値 ▾

人口 8,193人(H20.3.31現在)  
 面積 103.45 km<sup>2</sup>  
 歳入総額 6,114,588千円  
 歳出総額 5,884,339千円  
 実質収支 223,363千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**経常収支比率:**  
 ・全国及び県内市町村平均を下回っているが、対前年度比率は6.0ポイント上昇した。これは下水道事業への繰出基準の算出根拠が変更となり経常的経費が大幅に増額したことが原因となっている。また、町税など経常一般財源が減少傾向にあるなか、現在の社会情勢から今後も扶助費など義務的経費の伸びが見込まれるため、行財政改革の計画的な取り組みにより義務的経費の抑制を図り、現在の水準を維持していくよう努める。

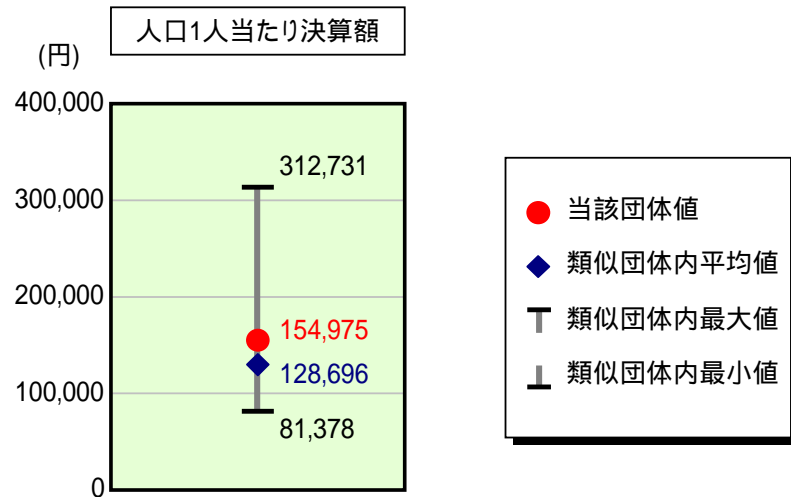
**人件費:**  
 ・職員数や手当の水準が類似団体と比較して高いために、経常収支比率の人件費分が高くなっており、集中改革プランに掲げた取組の実施により、改善を図っていく。具体的には、給与体系の見直しや機構改革による組織の統廃合による事務の効率化、退職者不補充による職員数の減(5年間で6人削減)など行財政改革への取組を通じて人件費の削減に努める。

**公債費:**  
 ・町債の借入を計画的に削減していることから公債費が徐々に減少傾向であり、全国及び県内市町村平均を下回っている。しかし、今後町勢振興計画に基づく教育施設の改修が予定されており、公債費負担の増が見込まれるが、起債依存型の事業実施を見直し、計画的な財政運営を図りながら公債費の上昇を抑制していく。

**普通建設事業費:**  
 ・普通建設事業費の人口1人当たり決算額は類似団体平均を大幅に上回っているが、これは幼稚園と保育所を統合する幼保一元化施設整備事業の実施によるものである。本事業の終了に伴い、来年度以降の普通建設事業は減少する見込みである。

# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

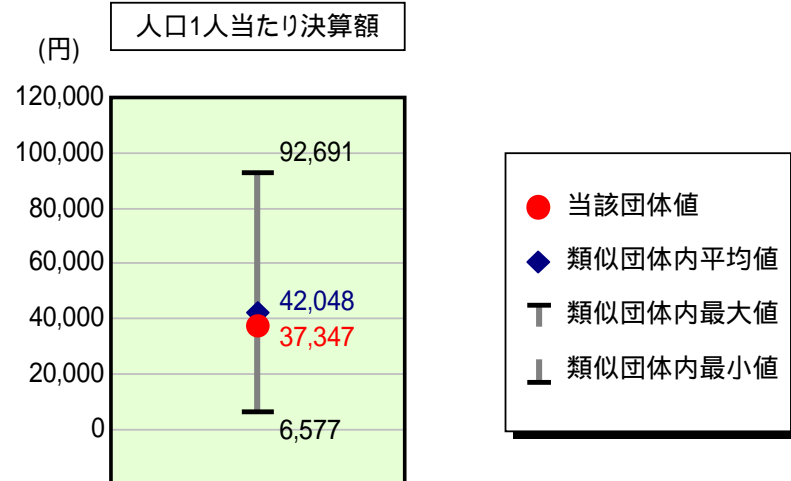
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	1,063,741	129,835	108,310	19.9
賃金(物件費)	68,808	8,398	7,093	18.4
一部事務組合負担金(補助費等)	154,189	18,820	15,722	19.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,203	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	66,093	8,067	4,713	71.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	21,047	2,569	2,346	9.5
退職金	104,167	12,714	10,690	18.9
合計	1,269,711	154,975	128,696	20.4

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	13.55	12.36	1.19
ラスパイレス指数	96.3	92.4	3.9

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

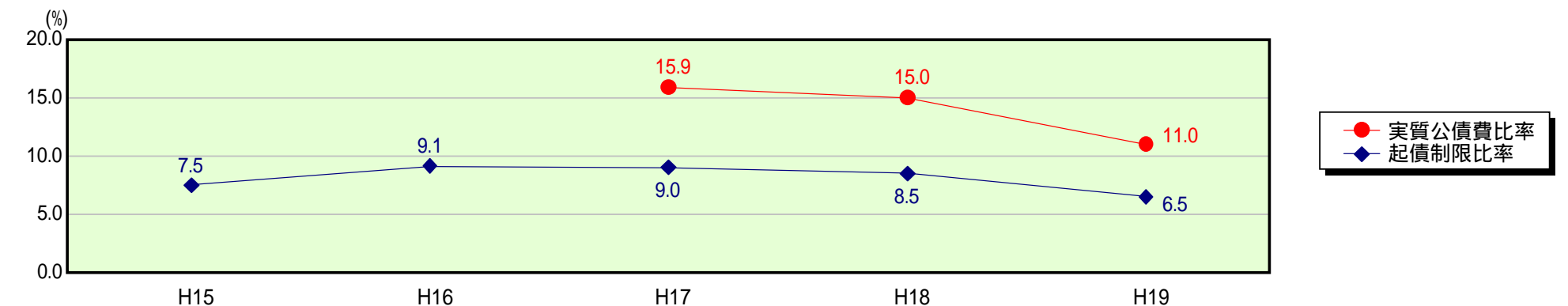


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	304,264	37,137	68,793	46.0
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	214,039	26,125	15,674	66.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	59,602	7,275	8,188	11.2
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	-	-	2,841	-
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	44	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	271,920	33,189	53,492	38.0
合計	305,985	37,347	42,048	11.2

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

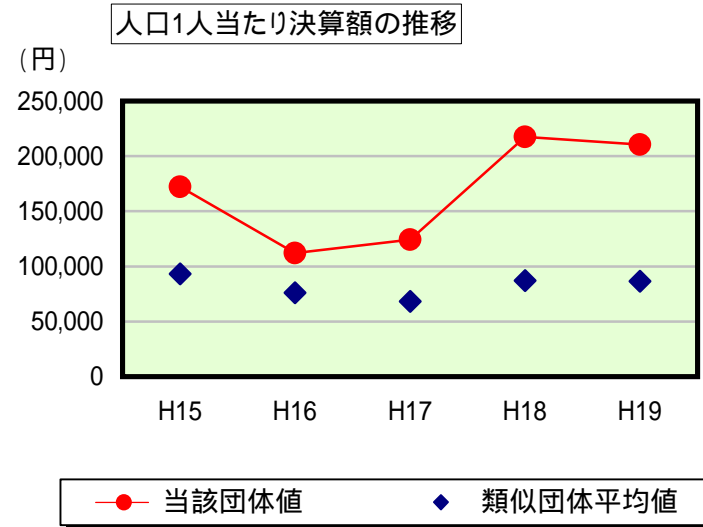
### 参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 檜葉町

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H15	1,466,547	172,110	16.6	93,255	6.0	10.6
うち単独分	1,297,258	152,242	9.9	57,445	12.3	2.4
H16	952,706	111,965	34.9	76,012	18.5	16.4
うち単独分	874,128	102,730	32.5	50,238	12.5	20.0
H17	1,040,025	124,375	11.1	68,130	10.4	21.5
うち単独分	967,345	115,683	12.6	43,462	13.5	26.1
H18	1,805,192	217,388	74.8	87,174	28.0	46.8
うち単独分	783,469	94,348	18.4	48,477	11.5	29.9
H19	1,723,528	210,366	3.2	86,616	0.6	2.6
うち単独分	1,294,953	158,056	67.5	49,776	2.7	64.8
過去5年間平均	1,397,600	167,241	6.2	82,237	1.5	7.7
うち単独分	1,043,431	124,612	3.9	49,880	4.8	8.7